

日経クロステック主催
戦略的テクノロジー活用セミナー(量子コンピューター編)

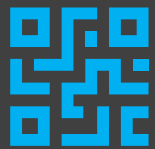


「量子コンピューティング・フォーラム(仮称)」

～未来を拓く量子技術～イノベーションの最前線とビジネス応用戦略～

協賛に関するご案内

日経BP



企画趣旨

かつて「夢の技術」と称された量子コンピューターは、ここ数年の目覚ましい技術革新と、国内外における実証研究の深化により、いよいよビジネス実装のフェーズへと移行しています。創薬・新素材開発、金融市場の最適化、物流・交通システムの効率化、さらには電力網の安定化と持続可能性を追求するエネルギーマネジメントなど、量子コンピューターによる革新的なソリューションが現実味を帯びてきました。特に製造業の現場では、従来のコンピューターでは解けない最適化問題やシミュレーションを処理できる強みを生かし、生産ラインの効率化や構造設計の改良、新材料の開発などで成果が出始め、量子技術がものづくりの現場に新たな革命をもたらそうとしています。

一方、現在のコンピューターをはるかにしのぐ計算能力を持つ量子コンピューターの実用化は、同時にインターネット通信や金融取引を守る既存の暗号技術がサイバー攻撃で破られるリスクが高まることを意味します。脅威に備え、量子技術でも解読が困難とされる「耐量子計算機暗号(PQC)」を普及させることが国際的な課題とも言えるでしょう。技術の進展に併せて、より高い安全性を備えたハードウェアおよびソフトウェアの開発と応用が求められています。

このような状況をふまえ、国内外の最新技術動向をウォッチする日経クロステックは、量子コンピューターのビジネス実装と市場開拓を強力に支援すべく「量子コンピューティング・フォーラム(仮称)」を企画しました。本セミナーは、産・官・学の第一線で活躍する有識者やキーパーソンが、最新の研究成果から具体的なユースケース、技術ロードマップ、そしてビジネスへの戦略的な導入方法までを多角的に取り上げ、情報発信する機会といたします。

最前線を走る関連会社様におかれましても、量子技術の波を捉え、市場をリードしていくことは、今後の事業戦略において不可欠な要素だと確信しています。本セミナーにご参画いただくことで、貴社が有する最先端技術やコンサルティング力、そして、未来へのビジョンを広くアピールし、技術広報、有力なビジネスパートナーとの連携強化、そして優秀な人材の獲得に繋がる絶好の機会を提供いたします。来るべき量子コンピューティング時代を共に創造し、新たなビジネス価値を創出する共創の場として、企画趣旨にご賛同いただき、ご支援賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

開催概要

■日経クロステック「量子コンピューティング・フォーラム2026(仮称)」

日時:2026年10月9日(金)13:00~17:30(予定)

形式:オンライン配信カンファレンス(V-CUBEセミナー)

主催:日経クロステック

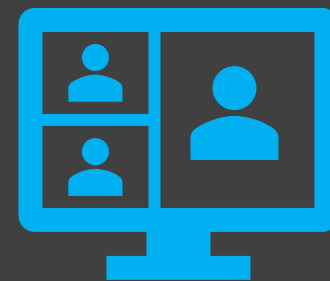
協力:日経ビジネス、日経エレクトロニクス、日経コンピュータ

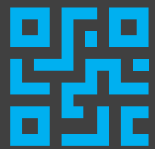
協賛:量子コンピューターマシンおよびソフトウェア提供各社、コンサルティング会社、
量子コンピューター用半導体、センサー、マテリアル、パッケージング関連各社など

受講対象:企業の経営層、経営企画、事業開発、設計・製造、研究・開発、情報システム部門、
官公庁・自治体、教育・研究機関のキーパーソンなど

受講規模:終日300名(予定)

※日時など変更になる場合がございます。

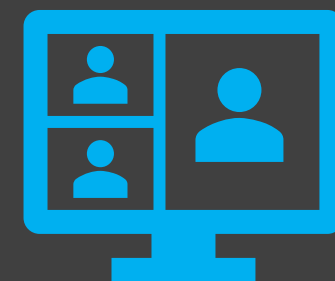


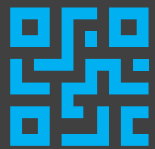


タイムテーブル(予定)

13:00~13:30	主催者企画（有識者、先進ユーザー企業による講演）
13:35~14:05	協賛講演
14:10~14:40	協賛講演
14:50~15:20	主催者企画（有識者、先進ユーザー企業による講演）
15:25~15:55	協賛講演
16:00~16:30	協賛講演
16:40~17:30	主催者企画（有識者、先進ユーザー企業によるパネル討論）

※タイムテーブルとプログラム構成は今後、変更になる場合があります



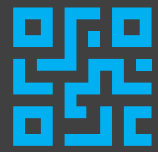


主催者企画の登壇者候補

- ・新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) AI・ロボット部 量子ユニット ユニット長 工藤 祥裕 氏
- ・文部科学省 研究振興局 量子研究推進室 室長 田淵 敬一 氏
- ・大阪大学 量子情報・量子生命研究センター センター長、特任教授 北川 勝浩 氏
- ・大阪大学大学院 教授、量子情報・量子生命研究センター副センター長 藤井 啓祐 氏
- ・沖縄科学技術大学院大学(OIST) 量子情報物理実験ユニット 准教授 高橋 優樹 氏
- ・法政大学 情報科学部 教授、NEDO イノベーション戦略センター フェロー 川畑 史郎 氏
- ・東京科学大学 総合研究院 基礎研究機構 特任教授 西森 秀稔 氏
- ・東京大学大学院 工学系研究科 教授 古澤 明 氏
- ・東京大学 工学系 光量子科学研究センター 教授 小芦 雅斗 氏
- ・東北大学 情報科学研究科 教授 大関 真之 氏
- ・分子科学研究所 光分子科学研究領域 研究主幹／教授 大森 賢治 氏
- ・理化学研究所 量子コンピュータ研究センター(RQC) センター長 中村 泰信 氏
- ・理化学研究所 創発物性科学研究センター 副センター長 樽茶 清悟 氏
- ・先進ユーザー企業(化学・創薬、輸送・物流、金融、製造業界)のキーパーソン

※トヨタ自動車、ホンダ、ソニーグループ、東京エレクトロン、ローム、中外製薬、富士フイルム、三菱ケミカル、JSR、みずほFG、三菱UFJ銀行、住友電工、コーセー、カインズ、大日本印刷、TOPPANホールディングスなど

※上記は候補者であり出演が決まっている訳ではありません



通常協賛プラン(プレミアム):400万円(税別)

- ・講演枠の提供:1枠(30分)
- ・全受講登録者リスト(400件想定)の提供
- ・講演採録記事(PR)の当社メディアへの掲載(原稿は共通) ※採録記事の掲載号、掲載期間は変更になる場合があります。

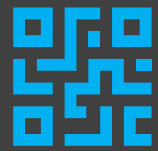
<1>Web媒体

日経クロステック+日経ビジネス電子版(ダブルブランド・1HTMLページ)
2026年11月下旬~4週間掲載

<2>雑誌媒体

日経ビジネス 2026年11月30日号(11/28発売) 4色1ページ掲載
日経コンピュータ 2026年11月26日号(11/24発売) 4色1ページ掲載

- ・講演資料等のダウンロード(任意、1点まで)
- ・個別アンケートの実施(任意) ※運営ルールに基づく形にて別途事務局よりご案内いたします。



通常協賛プラン(スタンダード):300万円(税別)

- ・講演枠の提供:1枠(30分)
- ・全受講登録者リスト(400件想定)の提供
- ・講演採録記事(PR)の当社メディアへの掲載(原稿は共通) ※採録記事の掲載号、掲載期間は変更になる場合があります。

<1> Web媒体

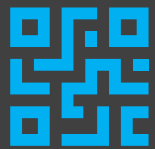
日経クロステック (1HTMLページ)

2026年11月下旬~4週間掲載

<2> 雑誌媒体

日経コンピュータ 2026年11月26日号(11/24発売) 4色1ページ掲載

- ・講演資料等のダウンロード(任意、1点まで)
- ・個別アンケートの実施(任意) ※運営ルールに基づく形にて別途事務局よりご案内いたします。



特別協賛(1社独占)プラン:1200万円(税別)

※要調整/要相談:ご提案、ご決定時期などによってはお受けできない場合がございます

- ・講演枠の提供:30分×3枠もしくは最大4枠まで
- ・主催者企画(パネル討論)への1名様ご登壇
- ・全受講登録者リスト(400件想定)の提供
- ・講演採録記事(PR)の当社メディアへの掲載(原稿は共通) ※採録記事の掲載号、掲載期間は変更になる場合があります。

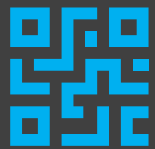
<1>Web媒体

日経クロステック+日経ビジネス電子版(ダブルブランド・1HTMLページ) ×3講演もしくは最大4講演分
2026年11月下旬~4週間掲載

<2>雑誌媒体

日経ビジネス 2026年11月30日号(11/28発売) 4色1ページ×3講演もしくは最大4講演分
日経コンピュータ 2026年11月26日号(11/24発売) 4色1ページ×3講演もしくは最大4講演分

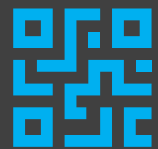
- ・講演資料等のダウンロード(任意、1点まで)
- ・個別アンケートの実施(任意) ※運営ルールに基づく形にて別途事務局よりご案内いたします。



今後の主なスケジュール(予定)

- 各社様へのご協賛プランご案内、ご提案 2026年4月以降随時
- 主催者企画ご登壇者の招聘開始 2026年5月～
- ご協賛申し込み締め切り 2026年7月末
- 主催者企画ご登壇者の決定 2026年7月
- 集客プロモーション開始 2026年8月～
- フォーラム開催 2026年10月9日
- 受講登録者リストの提供 2026年10月中旬
- 当社メディアへの採録記事掲載 2026年11月～

※本件計画や協賛に関するお問い合わせは、下記担当者までお願いいたします
日経BP アカウントマーケティング統括補佐 鍵山 kagiyama@nikkeibp.co.jp
※上記スケジュールは2026年3月現在の計画で変更になる場合があります。



個人情報を提供する際の取り扱いルール

日経BPでは顧客情報の提供にあたり、以下の内容を遵守していただくことを前提といたします。
是非、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

1. 顧客情報の範囲

提供する顧客情報は、「氏名」「勤務先会社名」「勤務先部署名・役職名」「勤務先郵便番号」「勤務先(または自宅)住所」「勤務先(または自宅)電話番号」「勤務先(または自宅)FAX番号」「電子メールアドレス」「業種など」の登録された情報のなかで貴社が希望する項目とします。「業種など」はイベント単位で異なる場合がありますので、事前に担当者までお問い合わせください。

2. 顧客情報の提供方法

顧客情報は「日経BP リードジェン支援システム」を使用してお提供いたします。データの取得方法などは貴社ご担当者様宛に弊社からメールでご案内いたします。問い合わせ先:日経BP リード・サポートセンター(E-mail:lgsc10@nikkeibp.co.jp)

3. 顧客情報の利用目的

提供した顧客情報は、その元となった貴社主催または協賛セミナーの内容に関連した、貴社製品／サービスのご案内に限定してご利用ください。

4. 顧客情報の利用方法

提供した顧客情報を元に、最初に顧客に連絡を取る際には、「提供した顧客情報の元となった貴社主催または協賛のイベント名」「貴社名」「貴社の連絡先」「顧客情報の変更・削除および情報提供停止の方法」を必ず明示してください。

5. 提供した顧客情報の管理責任について

提供した顧客情報は「個人情報の保護に関する法律」などに基づいて貴社の責任において管理・運用願います。万が一、事故などで顧客または貴社に損害が生じた場合、弊社では一切の責任を負いかねます。